

バックス主催「ハーモニカ合宿」報告

伏原 功

我々、男性5人のハーモニカバンド「バックス」が主催しているハーモニカ合宿を、今年は青梅線奥多摩駅近くの国民宿舎の観光荘を借り切って10月10日・11日に一泊で開催いたしました。

結成14年を迎えるバックスが、例年、各ハーモニカサークルに呼びかけて実施しているこの合宿は今年で9回目を迎えました。毎年、課題曲を1曲設けて、アンサンブル演奏のために、ファーストメロディ、セカンドメロディ、コード、バスの4つのパートに分かれ、それぞれバックスのメンバーがリーダーとなって練習し、練習時間の最後に合奏してその練習の成果を演奏するものです。

今年は午後一時に奥多摩駅に集合で、参加グループはバックスを含めて8グループ、世田谷ハーモニカ、アンサンブルけやき、上水ハーモニカ、かわせみハーモニカ、わかばハーモニカ、相模原すみれ会、日野ハーモニカの西東京や神奈川県の子サークルのメンバーで、総勢21人でした。集合の後、奥多摩駅から歩いて10分ほどの多摩川を渡ってすぐのところにある、国民宿舎の観光荘に到着。すぐに持参したマイクとアンプを、借り切っている大広間にセットし、各パートに分かれての練習に入りました。事前に今年の課題曲「大阪ラブソディー」の譜面を各参加者にはお渡ししてあったので、皆さんはかなりの練習を積まれてきたようで、直ぐにアンサンブル演奏が出来るレベルまで仕上がりました。練習の仕上がった参加者は他のパートの練習の場所に行って音合わせ、あるいは「おじゃま虫」になって、楽しんでいました。1時間程度の各パートでの練習の後、バックスの神谷さん、伊藤さんの指揮で2グループに分かれての合同演奏をいたしました。神谷さんの指揮は踊りを交えての指揮、伊藤さんは静かな指揮と、指揮法の違いも堪能してもらいました。かなりの演奏が出来たと自負しております。ビデオ撮影をしていた私は、神谷さんの指揮の時にはあまりの可笑しさにカメラが震えて困ったものです。どんな指揮だったかはご想像にお任せします。大広間を借りている時間が余ったので、バックスも数曲演奏し、各グループや個人でも舞台上がってマイクを使っての日頃の練習の成果を披露してもらいました。

その後、参加者は一旦割り当ての部屋に帰り、温泉に入った後は、宴会場での夕食になりました。同好の士の集まりは、話もお酒も進み大いに盛り上がったことは言うまでもありません。今回の宿舎は我々だけの借り切りで、その後も大広間を借りられたので、ハーモニカ吹きまくり大会になりました。大広間での吹きまくりが終わった後は幹事部屋に集まって、またまた吹きまくり、アルコール専門の参加者も居たようです。翌朝の朝食の後、直接帰る人、我々のように氷川渓谷を散歩して帰るグループと、自由解散になりました。

昨年度、一昨年度は青梅の「かんぼの宿」を合宿の会場にして、昨年は「ブルーライトヨコハマ」一昨年は「百万本のバラ」が課題曲でした。

今、「真面目に楽しく」モットーとしているバックスでの月2回の練習の後での反省会と言う飲み会では、来年度の合宿は何所の会場にしようかと言う話題で持ちきりです。候補地は、箱根、河口湖、那須温泉、熱海、私の生まれた湯河原、等等。

皆さんもよろしければ参加しませんか。資格はハーモニカが大好きだと言うだけです。